

行政職員の 防災力向上を!

災害対策士を活用した防災エキスパートの育成を



専門知識・
実践力を持つ
人材の育成



平時からの
備えの強化



災害時の
対応力の向上



地域の
安心・安全の
実現

[TOP](#)[About us](#)[Research](#)[Program](#)[DSEP](#)[Event](#)[News](#)[CAMPUS](#)

東京大学 生産技術研究所附属
災害対策トレーニングセンター

設立趣旨 (Statement)

毎年のように世界中で地震、風水害などの自然災害が発生し、多くの人命や財産が失われており、私たちは総力戦でこれらの災害に立ち向かうしかない状況に直面しています。そこでDMTCは、新たな局面における災害対策の研究と人材養成の新しい教育サービスとして、自助・共助・公助の枠組みや組織を超え、相互に補完し連携するために、横断的かつ体系的に災害対策を研究し学びあうことで、様々なセクターで活躍できる人材を養成します。

災害対策に関する「研究」と「教育」を両輪として、災害対策に関する知の集積と研究を促進することで、行政、企業・団体、地域住民など、多様なステークホルダーによる災害対策の発展に貢献します。

災害対策士と防災士の違い

比較項目	防災士	災害対策士
対象フェーズ	主に「発災直後」の救助や避難	「事前計画」から「復旧・評価」まで
段階設計	単一レベルのみで、目的に応じた設計はできない	C級・B級・A級の3段階があり、対象者の役割・目的に応じて段階的に設計できる
取得プロセス	対面の集合研修(最低2日間)＋救急救命講習(別途必須)＋会場試験	C級は自学自習(公式テキスト)＋オンライン試験のみで通学不要。B級は実技を伴うため集合型の会場研修が必要
更新制度・費用	なし(永年無料)	あり(3年ごと、更新費用が発生)
総額の目安	約60,000～65,000円	C級:29,800円(23歳以下は19,800円)。専門プログラムを含めても10万円未満が目安